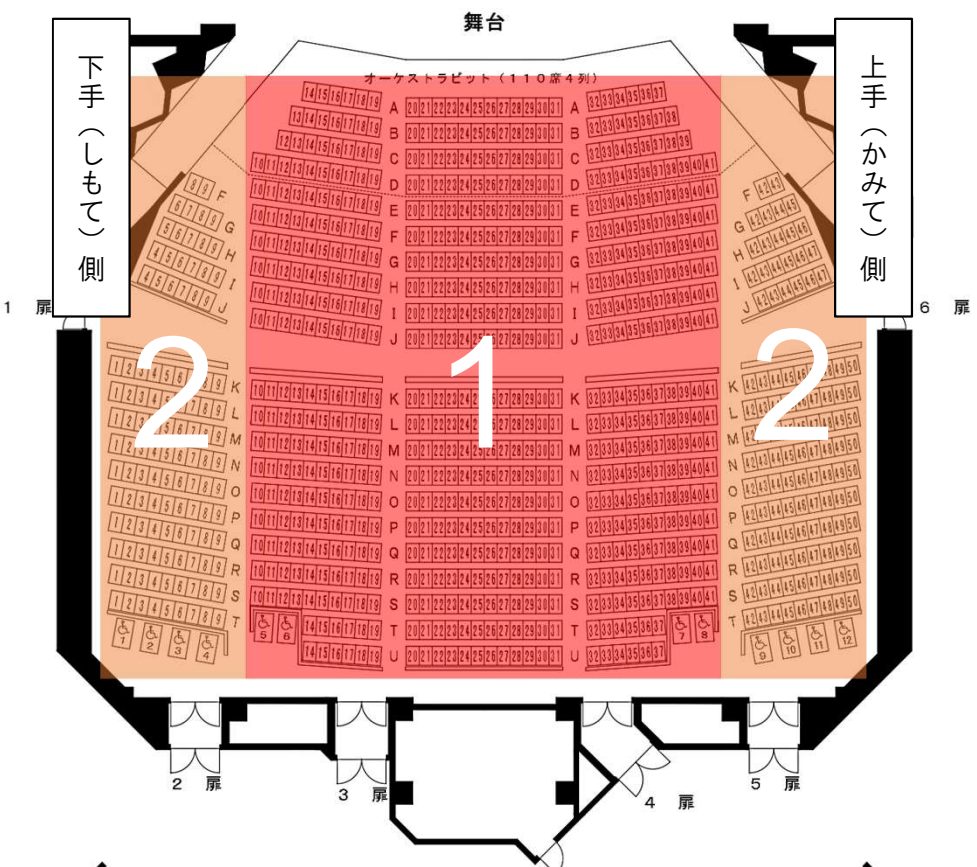


The image shows the interior of a large, modern concert hall. The seating area is filled with rows of red seats, arranged in a semi-circular pattern. The stage is a light-colored wooden floor. The walls are made of brick and feature large, angular architectural elements. The ceiling is high and has several recessed lighting fixtures. A large red rectangular overlay is centered in the image, containing white text.

練馬文化センター 大ホール
見え方、聴こえ方ガイド

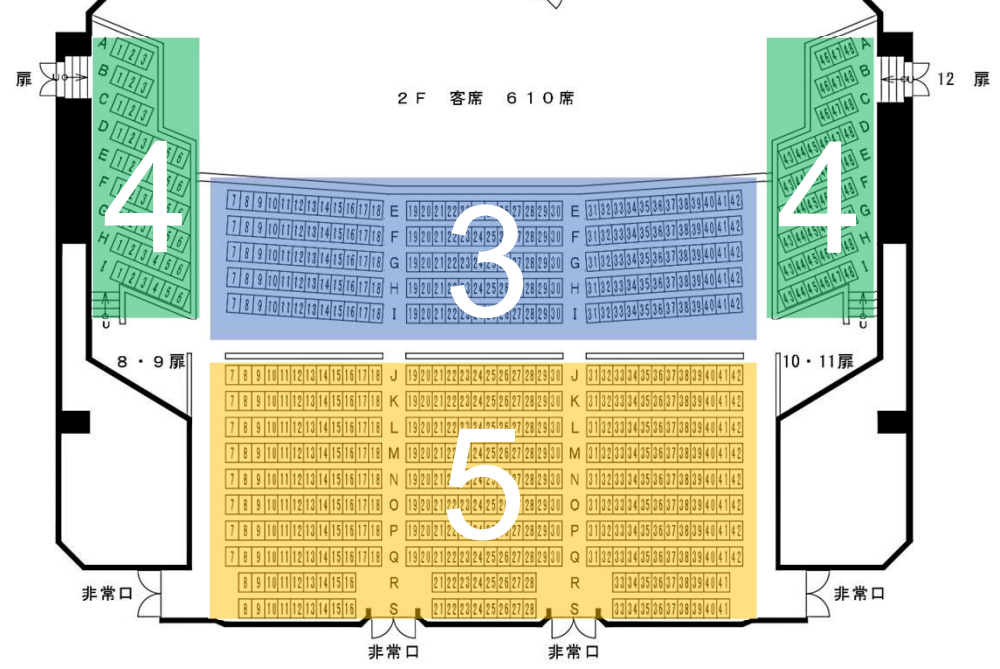


1. 舞台の熱量が最も感じられるのはここ！

舞台の熱量を存分に感じられるのは、なんと言っても1階席です。中央の通路より舞台寄りのエリアでは、演者が発する音や息づかいがリアルに体感できます。中央の通路より後方のエリアでは、ホール全体の響きを体感できます。

2. オーケストラ、右から聴くか、左から聴くか。

オーケストラ公演の場合は、下手側と上手側での見え方の違いをお楽しみいただけます。ピアニストやヴァイオリニストなどの独奏者がいるコンチェルトでは、下手側の方が比較的独奏者が見えやすいと言えます。お目当ての独奏者が出演する公演の際はおすすめです。逆に上手側は、コンサートマスターの動きが見えやすく、オーケストラのドライブ感を存分に堪能できます。



3. 舞台全体を一望したいならここ！

2階席の正面エリアからは、大ホールの舞台全体を一望できます。オーケストラはもちろん、ミュージカルやオペラなど、舞台全体を使用する公演の場合、舞台上のどこで何が起きているのかを、常に感じていただけるのでおすすめです。

4. 左右のバルコニーはツウ好み？

2階席の中でもツウ好みと言えるのが、左右のバルコニーエリアです。左右で舞台の見え方に偏りがあるものの、舞台上で特に注目したいポイントがある人にとっては、もってこいのエリアなのです。自分だけのこだわりの鑑賞スタイルがある人にはおすすめです。

5. 意外な没入感が味わえる？

2階席の後方は、舞台から距離があるため敬遠されがちなエリアです。たしかに、1階席や2階席前方に比べて体感できる熱量や迫力は劣るものの、意外な没入感が味わえるのが特徴です。自分の部屋にこもって、集中して鑑賞している状態にちょっとだけ似ているのかも？